

Windows10 November 2021 Update (21H2)

動作検証完了のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は格別なお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、先般ご案内しておりました Windows10 November 2021 Update (バージョン: 21H2) の動作検証について、弊社アプリケーションおよび周辺機器の動作検証が完了しましたことをご案内申し上げます。詳細につきましては下記をご一読くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. ハードウェアについて

弊社販売の対応可能機種は下記の通りです。(機種名はフロントカバー又は裏面をご覧ください)

Atlas シリーズ	Atlas730X、Atlas720X、Atlas710X、Atlas700X Atlas73D_22F、21F Atlas72D_20T、20S、19S Atlas72_19F、18F、17S、17F
------------	--

Works シリーズ	WorksD23_22F、21F、20S、20F、19S、 WorksF23_17S、17F WorksF19_17F
------------	---

サテライトシリーズ	B65DP、B65DN、B65M、B65J、B65H、B65D、B65B、B65A
-----------	---

デルノートシリーズ	DP3561-M5、DP3551-M5
-----------	---------------------

※ 上手くんαシリーズをご利用の顧問先様も含め他社販売機につきましては、製造メーカーのサポート情報をご確認ください。

2. 周辺機器について

弊社販売の対応可能機器は下記の通りです。

〔プリンター〕

KCP8060、KP4140、OC11、ONⅢ、ONⅡ、CC851、CC10、EP100S、EP100

〔OCR/スキャナ〕

AR31N、AR30N / fi-7300NX、S-21、S-11

〔ファイアウォール関係〕

FW370、FW270、FW250、FWX、SLV210、SLVX、SSLVPN クライアントソフト

〔ICカードリーダー〕

SCR3310V2、uTrust4701F、ACR1251DI-NTTCom、ACR39-NTTCom
CLOUD2700-NTTCom、SCR3310-NTTCom、SCR331DI-NTTCom

3. アップデートについて

ハードウェアやソフトウェア、周辺機器を含め、お使いの環境が全て対応済みの場合に限り、Windows10 November 2021 Update が可能となります。

詳しくは、担当技術サービス部へご相談くださいますようお願い申し上げます。

※ 予めデータのバックアップを行ってからアップデート作業をお願いします。

4. 日本語入力の不具合について

一部アプリケーションにおいて、日本語入力が出来ない等の現象を確認しています。

Microsoft IME の不具合によるもので、この不具合が解消されるまでは Windows の設定で「以前のバージョンの Microsoft IME を使う」設定に変更してください。

〔現象例〕

財務処理 d b の元帳検索業務の「科目」入力でハングアップ状態となる。

〔変更方法〕

1. Windows スタートメニューから「設定」（歯車のアイコン）を起動します。
2. 「時刻と言語」を選択します。
3. 画面左のメニューから「言語」を選択します。
4. [優先する言語]の項目から「日本語」をクリックし「オプション」を選択します。
5. [キーボード]の項目から「Microsoft IME」をクリックし「オプション」を選択します。
6. 「全般」をクリックし、[互換性]の項目から『以前のバージョンの Microsoft IME を使う』をオンにします。
7. 確認画面を表示しますので、「OK」をクリックします。

以上